

私達は、21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS(アートコミュニケーションプロジェクト)として、100種類の創作BIRDのぬり絵や折り紙を中心としたワークショップを各地で積極的に展開しています。「自分らしく、他人を認めあい仲良く」をテーマに、セルフエドケーション(しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているようなスタイル)の大切さを伝えていきたいと思っています。ぜひ、ホームページをご覧ください。 [www.bird-kiss.com](http://www.bird-kiss.com)

## モンゴルは広かった！

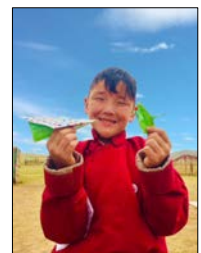
2018年6月18日からモンゴルへいってきました。成田から、首都ウランバートルのチンギス・ハーン国際空港まで直行便で5時間半。意外と遠い？ 近い？ 飛行機から見た大草原は、まるでゆっくりうねった波のような丘が永遠に続く「緑の海」そのものでした。どこに行くにも2～3時間かかるモンゴル。どこまでもまっすぐな道や草原の中のでこぼこ道を進むと遊牧民が住む「ゲル(移動式テント)」がポツポツと出現する。多くの羊や馬、牛の群れがそのゲル周辺でゆっくり草を食べていた。お隣さんまで1時間以上かかるよなあ。とにかく広い！ 心も広い！

## モンゴルの大草原で、BIRD折り紙を大空に向かって飛ばしました。

首都ウランバートルから西へ50kmに位置するノマディックキャンプで、遊牧民の生活や文化を体験。モンゴルの「白い食べ物」と呼ばれる乳製品、塩味のミルクティーやチーズ、バターそして馬乳酒など、ポールツォグという揚げパンと一緒にいただきました。そして遊牧民の家族の子どもたちとBIRD折り紙で遊びました。スタッフがツルと一緒に折ったのですが、「もっとゆっくり折って！」といわれたり(笑)。とっても真剣に取り組んでくれました。また、飛行機を折って、みんなで飛ばし合いもしました。モンゴルの風に乗って飛ばしたかったのですが、難しかったです！(笑)

## モンゴルBIRDデビュー！

大草原を進む途中で、BIRDオブジェの撮影もしてきました。はじめてのモンゴルの広大な景色にBIRDたちも感動していました。



モンゴルの小学校(テンゲル交換ホームステイ)。校長先生はじめみんなBIRD仲間！